

報道発表資料
平成 24 年 4 月 27 日
気 象 庁

津波防災啓発ビデオ「津波からにげる」の制作について

気象庁では、東日本大震災を踏まえて、津波から自ら判断して避難することの大切さが子供にも分かりやすく理解できる津波防災啓発ビデオ「津波からにげる」を下記のとおり制作しました。

このビデオの利活用を通じて、津波に関する防災教育の支援や普及啓発活動に努めてまいります。

記

1. ビデオ制作の目的

- ①大きな地震が発生した後は迅速かつ自主的に避難するという意識の向上
- ②避難に必要な正しい津波の知識の獲得
- ③日頃から津波に備えることの大切さの理解

2. ビデオの内容

小学生が理解できる内容とし、以下の 4 章で構成。

- ①アニメ【約 5 分】小学校における東日本大震災の避難事例
- ②インタビュー【約 4 分】自ら進んで逃げるなどの避難のポイントの紹介
- ③クイズ「津波を知ろう」【約 4 分】クイズをとおして津波の知識を学ぶ
- ④防災マップを作ろう【約 3 分】日頃からの備えの重要性を学ぶ

3. 製作部数及び提供先等

(1) 製作部数

4 万 5 千部（DVD・ハンドブック）

(2) 提供先等

このビデオを全国の小中学校や防災関係機関等に提供し、津波に関する防災教育の支援や普及啓発活動を行います。

また、ビデオは気象庁ホームページ（以下 URL）において自由に視聴できるように掲載しています。

http://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/tsunami_dvd/index.html

本件に関する問い合わせ先：

気象庁地震火山部管理課地震津波防災対策室 03-3212-8341（内線 4666）

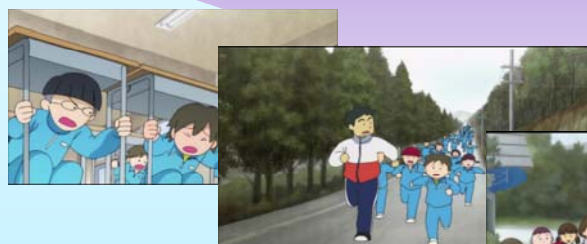
「津波からにげる」について

津波から命を守るため、①迅速かつ自主的に避難するという意識の向上、②避難のために必要な津波の正しい知識の獲得、③日頃から津波に備えることの大切さを学ぶことができ、かつ、学校の授業等で活用を期待して、津波防災啓発ビデオ「津波からにげる」を作成しました。



「津波からにげる」の内容 その1

◎アニメーション（約5分）及びインタビュー（約4分）



アニメーション

東日本大震災における岩手県釜石市立鵜住居小学校の子どもたちが、避難先を何度も替えながら津波からにげた様子をアニメーションで再現。自分たちと同世代の避難の様子が描かれることで自分達のこととして受け入れやすく、更に、アニメーションとしたことでわかりやすく、子どものうちから継続的に津波避難等について学ぶことができる内容としました。

また、実際に避難した先生や子ども達のインタビューを交えながら「津波からどのようににげたらよいのか」を伝える内容もまとめています。



インタビュー



「津波からにげる」の内容 その2

◎津波クイズ（約4分）



津波に関する基礎的な知識を4つのクイズとして出題。回答は映像を交えて解説し、難解となりがちな内容を楽しみながら学ぶことができます。

◎防災マップを作ろう（約3分）

日ごろからの備えも重要です。「防災マップを作ろう」では、三重県尾鷲市立宮之上小学校で取組まれた防災マップの作成の事例を紹介。子ども達が町に出て、危険な場所を調べたり、調べた結果を地図上に示していく経過を紹介しています。



◎解説編（本編と同じ約17分）及び資料映像

ビデオがどのような内容か確認する際の参考としての「解説編」や、津波と普通の波の違い、避難訓練の取組みの様子などの映像を収録。事前の参考や個別説明の資料として活用されることを期待しています。



解説編



津波と普通の波の違い



避難訓練

「津波からにげる」を活用してもらうために

本ビデオでは、子どもにもわかりやすく伝えられるよう、アニメーションやクイズを取り入れています。

また、先生等が活用するためのポイントを画面中にテロップとして記入した動画を「解説編」として収録し、ワークシート「津波防災ハンドブック」も併せて作成するなど、学校の授業で活用していただくためのアイデアを取り入れました。



ハンドブック